

# 令和元年度和歌山支部事業実施状況について

- ①令和元年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み . . . P 1
- ②和歌山支部保険者機能強化予算にかかる経費について . . . P11



## ①令和元年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

## 令和元年度和歌山支部 K P I 結果

担当	事業計画	KPI	R1目標	R1実績	達成度	R2目標	
業務	1・ 基盤的 保険者 機能関 係	(3)	柔整の申請に占める、3部位以上、かつ月15日以上 <small>の</small> 施術申請の割合	1.08%以下	1.07%	○	1.07%以下
		(5)	サービススタンダードの達成状況	100%	100%	○	100%
			現金給付等の申請に係る郵送化率	90%以上	91.1%	○	92%以上
		(6)	高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合	84.0%	81.0%	×	85%以上
	(7)	被扶養者資格の確認対象事業所からの提出率	90.0%	92.4%	○	92%以上	
レセプト		(2)	支払基金と合算したレセプト点検の査定率	0.541%以上	0.501%	×	0.501%以上
		(4)	年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率	94.8%以上	94.68%	×	95.5%以上
			返納金債権（資格喪失後受診に限る。）の回収率	73.51%以上	53.18%	×	53.18%以上
			医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合	0.038%以下	0.042%	×	0.042%以下
保健	2・ 戦略的 保険者 機能関 係	(1)-1	生活習慣病予防健診受診率	46.2%以上	47.8%	○	51%以上
			事業者健診データ取得率	9%以上	10.9%	○	12.3%以上
			被扶養者の特定健診受診率	20.6%以上	22.4%	○	25.6%以上
		(1)-2	特定保健指導の実施率	17%以上	20.8%	○	20.8%以上
(1)-3	受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合	12%以上	10.8%	×	12.9%以上		
企画		(2)	広報活動における加入者理解率の平均	36.7%以上	46.1%	○	38.4%以上
			全被保険者数に占める健保委員委嘱事業所の被保険者数の割合	53%以上	55.60%	○	56%以上
		(3)	ジェネリック医薬品使用割合	75.2%以上	74.3%(R2.2現在)	-	76.5%
		(4)	他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議への支部参加率	100.0%	100%	○	100%

# 令和元年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

1. 基盤的保険者機能関係		主な取り組み内容等		今後の課題と対策				
業務グループ	(1)	現金給付の適正化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 保険給付適正化会議を開催し、調査および医療機関訪問を実施。新たな喪失後受診返納金の発生を防止した。また、傷病手当金と障害年金との併給調整については月次で進捗管理を徹底。労災休業補償給付については、労働基準監督署と連携を進め、併給調整の適正に努めた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 引き続き不正事案が疑われる案件について、調査・確認を徹底する。また、傷病手当金と年金、労災との併給調整の管理を徹底する。</li> </ul>			
	(3)	柔道整復施術療養費等の照会業務の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 柔整師カルテを作成し、和歌山柔道整復師会へ、申請件数の多い所属会員50人分のカルテを提供し、会員への指導に活用していただくように求めた。</li> <li>■ 柔整版医療費通知を作成し、複数施術所利用者40人への文書照会と、長期過剰療養者501人への啓発通知を送付し、適切な保険証使用への協力を求めた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新施術所ごとの申請傾向を分析し、また新型コロナウイルス自粛期間における傾向の変化も分析して、面接委員会の対象施術者候補を選定する。分析結果に基づいて患者照会の強化策を検討する。</li> </ul>			
		KPI	柔整の申請に占める、3部位以上、かつ月15日以上 of 施術申請の割合	R1目標	R1実績	達成度	R2目標	
				1.08%以下	1.07%	○	1.07%以下	
	(5)	サービス水準の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 申請書の受付から給付金の振込までを10営業日以内に完了させることをサービススタンダードとして定めており、日々の進捗管理を徹底し100%の達成を目指す。</li> <li>■ 郵送による申請が可能である旨の広報と電話説明を実施した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 進捗管理の徹底により100%の達成を目指す。</li> <li>■ 新型コロナウイルス感染拡大防止も目的として、不要不急の窓口利用は控えていただくように案内する。</li> </ul>			
	KPI	サービススタンダードの達成状況	R1目標	R1実績	達成度	R2目標		
			100%	100%	○	100%		
	KPI	現金給付等の申請に係る郵送比率	R1目標	R1実績	達成度	R2目標		
			90%以上	91.1%	○	92%以上		

# 令和元年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

1. 基盤的保険者機能関係		主な取り組み内容等	今後の課題と対策			
業務グループ	(6) 限度額適用認定証の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■医療機関の窓口での支払額が一定額となる限度額証の使用割合を高めることで、加入者サービスの向上を図る。</li> <li>■前年度以前より複数の医療機関に申請書と返信用封筒を設置していただいているが、引き続き設置していただくため、医療機関へ赴き改めての依頼をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■定期的に広報することで、制度を認知していただくように努める。</li> </ul>			
		KPI 高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合	R1目標	R1実績	達成度	R2目標
			84%以上	81.0%	×	85%以上
業務グループ	(7) 被扶養者資格の再確認の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>■未提出であった全ての事業所へ勸奨文書と確認リストを送付し、提出率の向上を図った。</li> <li>■海外在住者の厳格化等健保法改正にかかる制度変更について広報を実施し、海外在住確認事業所に対する扶養確認及び解除指導を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■本年度の確認対象者について、各種広報媒体を通じた啓発を積極的に実施することで提出率の向上を図る。</li> <li>■健保法改正にかかる扶養基準の変更に、制度周知と理解の促進に努める。</li> </ul>			
		KPI 被扶養者資格の確認対象事業所からの提出率	R1目標	R1実績	達成度	R2目標
			90%以上	92.4%	○	92%以上

# 令和元年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

1. 基盤的保険者機能関係		主な取り組み内容等	今後の課題と対策					
レセプトグループ	(2) 効果的なレセプト点検の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自動点検マスタ等の定期的なメンテナンスを通じた効率的なレセプト内容点検の実施。</li> <li>■指導医や外部講師による研修、支部内や近隣支部との勉強会、支払基金との協議を通じたレセプト点検員のスキルアップの推進。</li> <li>■業務災害、通勤災害、第三者行為に該当する可能性のあるレセプトに対する負傷原因照会等を通じた負傷状況の把握及び医療機関へのレセプトの返戻、債務者への返還措置の実施。</li> <li>■システムを活用した効率的な資格点検業務の確実な実施及び医療機関へのレセプトの返戻、債務者への返還措置の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■引き続き研修や勉強会等を通じたさらなるレセプト点検員のスキルアップの推進と支払基金と合算したレセプト点検の査定率の向上に向けて取り組む。</li> <li>■引き続き第三者行為による傷病届の提出があった加入者に係る進捗管理の徹底と加害者や加害者の加入している保険会社に対する速やかな返還措置を実施する。</li> </ul>					
			KPI	支払基金と合算したレセプト点検の査定率	R1目標	R1実績	達成度	R2目標
			0.541%以上	0.501%	×	0.501%以上		
	(4) 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■保険証の未返納者に対する速やかな文書催告及び電話催告の実施。</li> <li>■返納金債権等の未返納者に対する計画的な文書催告及び電話催告の実施。</li> <li>■納付に応じない債務者に対する弁護士名による催告や内容証明郵便等による最終催告、裁判所への支払督促や債権差押等の法的手続を実施。</li> <li>■資格喪失後受診の返納金債務者で国民健康保険への加入をしている者については、国民健康保険との保険者間調整による解決を図り、確実な債権回収を推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■引き続き資格喪失後受診による返納金債権の発生抑制に向けた早期の保険証回収に取り組む。</li> <li>■債権回収については、新規発生債権の早期回収に向けた重点的な取り組みと傷病手当てと年金の調整による返納金や労災該当による返納金等でそれぞれ発生している高額債権に対して確実な回収に努める。</li> </ul>					
			KPI	年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率	R1目標	R1実績	達成度	R2目標
					94.8%以上	94.68%	×	95.5%以上
			KPI	返納金債権（資格喪失後受診に限る。）の回収率	R1目標	R1実績	達成度	R2目標
					73.51%以上	53.18%	×	53.18%以上
			KPI	医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合	R1目標	R1実績	達成度	R2目標
			0.038%以下	0.042%	×	0.042%以下		

## 令和元年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

2. 戦略的保険者機能関係		主な取り組み内容等	今後の課題と対策					
保健グループ	(1) - i)	<p>特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上</p> <p>〈生活習慣病予防健診対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■小・中規模事業所を対象とした受診勧奨の実施。 小規模事業所349名申込 中規模事業所 130名申込</li> <li>■付加健診対象者への受診勧奨の実施。 付加健診 73名申込 受診勧奨後の新規申込者 合計 552名</li> <li>■生活習慣病予防健診委託機関の拡大。(2 機関新規追加)</li> </ul> <p>〈事業者健診データ取得対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■事業者健診データ取得に関する外部委託勧奨の実施。データ取得 3,253件(前年度 1,895件)</li> </ul> <p>〈被扶養者の特定健診対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■協会主催の集団健診開催日数の拡大。16回開催(前年度14回)</li> <li>■自治体がん検診との同日実施の機会拡大。 令和2年度以降開催に向けて、橋本市・紀の川市と調整。</li> <li>■電話勧奨・ハガキ勧奨等による受診再勧奨の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■小規模事業所の受診率が低いため、引き続き個人宛勧奨を継続し、受診拡大につなげる。集団健診の場を提供し、受診機会拡大につなげる。</li> <li>■健診受診率が低い事業所を対象に、生活習慣病予防健診への切り替え、および事業者健診データ提供勧奨を進めていく。</li> <li>■被扶養者の特定健診の受診機会拡大対策として、集団健診開催日数、会場を開拓していく。</li> </ul> <p>ハガキ勧奨や電話勧奨などの再勧奨に取り組みむ。</p>					
			KPI	生活習慣病予防健診受診率	R1目標	R1実績	達成度	R2目標
					46.2%以上	47.8%	○	51%以上
			KPI	事業者健診データ取得率	R1目標	R1実績	達成度	R2目標
		9.0%以上	10.9%	○	12.3%以上			
KPI	被扶養者の特定健診受診率	R1目標	R1実績	達成度	R2目標			
		20.6%以上	22.4%	○	25.6%以上			

# 令和元年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

2. 戦略的保険者機能関係		主な取り組み内容等	今後の課題と対策			
保健グループ	(1) -ii)	<p>特定保健指導の実施率の向上</p> <p>〈被保険者の特定保健指導対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 特定保健指導外部委託の推進 健診機関・民間業者による保健指導実施：評価390件（前年度250件）</li> <li>■ 支部が初回面談を実施した者の継続支援を民間業者へ委託。評価1,931件（前年度566件） 支部で実施する初回面談実施件数を拡大。初回面談3,086件（前年度2,813件）</li> </ul> <p>〈被扶養者の特定保健指導対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 協会主催の集団健診で、健診当日の特定保健指導を実施できる会場を拡大。 15会場で実施。（前年度9会場）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 健診当日の特定保健指導実施機関の拡大。健診実施数が多い健診機関の開拓</li> <li>■ 特定保健指導実施事業所の開拓 事業者健診データ提供事業所、健康づくりチャレンジ運動登録事業所などを対象に特定保健指導実施事業所の拡大を図る。</li> <li>■ 特定保健指導を受ける機会の拡大。 事業所以外での機会として、休日の相談日の設定やICT面談などを導入し、個人勧奨にも取り組む。</li> </ul>			
		<p>KPI</p> <p>特定保健指導の実施率</p>	R1目標	R1実績	達成度	R2目標
		17.0%以上	20.8%	○	20.8%以上	
保健グループ	(1) -iii)	<p>重症化予防対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高血圧・糖尿病未受診者への文書勧奨・電話勧奨・訪問による受診勧奨を実施。 二次勧奨：（文書：1,315件 電話：58件 面談：184件） * 電話勧奨を新たに導入。二次勧奨時の文書勧奨発送対象を拡大</li> <li>■ 腎機能の疑いのある方への専門医への受診勧奨および保健指導の実施。 （受診勧奨 128件 保健指導 1名）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高血圧・糖尿病未受診者への受診勧奨後の受診率が低い。H30年度9.1%→H31年度10.8%にアップしているが、目標12%には届かず。受診行動のきっかけとなるよう文書勧奨のデザインを見直す。</li> <li>■ ハイリスク者への保健指導について、受診勧奨方法を検討し、医師会等と連携を図りながら取り組みを進めていく。</li> </ul>			
		<p>KPI</p> <p>受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合</p>	R1目標	R1実績	達成度	R2目標
		12.0%以上	10.8%	×	12.9%以上	



# 令和元年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

2. 戦略的保険者機能関係		主な取り組み内容等	今後の課題と対策			
企画 総務 グループ	(1) -iv) <b>コラボヘルスによる健康経営の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■健康宣言事業「わかやま健康づくりチャレンジ運動」を和歌山県と共同実施。（新規登録事業所203社）</li> <li>■「わかやま健康づくりチャレンジ運動」登録の電話勧奨委託を実施した。また、職員による訪問勧奨も併せて実施した。</li> <li>■登録事業所に対するサポートの実施。（健康講座14件、血管年齢測定器39件・フードモデル10件の貸出）</li> <li>■健康経営優良法人認定に対するフォローの実施 13社→22社認定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■健康経営優良法人認定、チャレンジ運動登録事業所の拡大を図る。</li> <li>■健康宣言後のフォローアップの強化を図る。</li> </ul>			
	(2) <b>広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■広報計画に基づいた各種媒体（HP・メルマガ・県広報誌・地域生活情報誌等）を利用した広報を行った。</li> <li>■健康保険委員の委嘱拡大のため、登録勧奨を実施した。</li> <li>■健康保険委員研修会を開催し、委員のスキルアップを図った。</li> <li>■永年の活動や功績に対して感謝の意を表すため、健康保険委員表彰（理事長表彰4名、支部長表彰10名）を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■加入者理解率の向上、ホームページ、メルマガジンの閲覧者の増加を目指す。</li> </ul>			
	KPI	広報活動における加入者理解率の平均	<b>R1目標</b>	<b>R1実績</b>	<b>達成度</b>	<b>R2目標</b>
		36.7%以上	46.1%	○	46.1%以上	
KPI	全被保険者数に占める健保委員委嘱事業所の被保険者数の割合	<b>R1目標</b>	<b>R1実績</b>	<b>達成度</b>	<b>R2目標</b>	
		53.0%以上	55.6%	○	56%以上	

## 令和元年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

2. 戦略的保険者機能関係		主な取り組み内容等	今後の課題と対策			
企画 総務 グループ	(3) ジェネリック医薬品の使用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ジェネリック医薬品軽減額通知を送付。(8月・2月)</li> <li>■中枢神経系用薬を使用する18歳以上の協会けんぽ加入者に対し、ジェネリック医薬品使用啓発リーフレットを送付した。</li> <li>■路線バスおよび公用車を活用した広報を実施。(ラッピング、車内モニター、車内放送)</li> <li>■レセプトデータを集計した後発医薬品リストの調剤薬局への情報提供およびホームページでの公開。</li> <li>■和歌山県医薬品安心安全使用懇話会で取組発表を行った。(3月)</li> <li>■和歌山県との共同で作成したジェネリック調剤虎の巻を県内調剤薬局へ配布した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■医療機関向けへのジェネリック医薬品調剤状況にかかる統計資料の提供を行う。</li> <li>■医療機関、薬局に対し、訪問説明など直接的な働きかけの実施。</li> <li>■県業務課、県薬剤師会他保険者との連携の推進。</li> </ul>			
		KPI	ジェネリック医薬品使用割合(赤字は全体分)	R1目標	R1実績	達成度
				75.2%以上	74.3%(R.2現在)	-
	(4) インセンティブ制度の取組・広報の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■インセンティブ周知用リーフレットの配布</li> <li>■HP、メルマガ「協会けんぽわかやま通信」等での和歌山支部の実績を踏まえた広報を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■加入者理解度調査の結果、理解率が極めて低いため、加入者にとって分かりやすい制度の周知を図る。</li> </ul>			
	(5) 医療データの分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域医療構想の実現に向けて協議の行われる「地域医療構想調整会議」において、県内7医療圏中、6医療圏に和歌山支部から委員を選出し、参画し意見発信を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■医療費情報等を分析研究し、効果的な意見発信を行えるよう体制を整備する。</li> </ul>			
	KPI	他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議への支部参加率	R1目標	R1実績	達成度	R2目標
			100%	100%	○	100%

# 令和元年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

3. 組織体制関係		主な取り組み内容等		今後の課題と対策			
企画 総務 グループ	(1) 人事制度の適正な運用と標準人員に基づく人員配置	■業務の効率化等の推進により、標準人員に基づく人員配置を適正に実施する。		■今後も引き続き、業務効率を踏まえた人員配置を適切に実施する。			
	(2) 人事評価制度の適正な運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実績及び能力に紐づいた評価の実施。</li> <li>■適切な目標を立てられるよう、管理職による面談を実施。</li> <li>■結果についての振り返りとしてフィードバック面談を実施。</li> </ul>		■目標設定を通じて、自身の役割を認識させ、実績の向上につなげ、能力、実績に紐づいた適正な評価を実施する。			
	(3) OJTを中心とした人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各グループ長がOJT指針を作成し、グループごとの課題に応じた人材育成を実施した。</li> <li>■お客様満足度調査結果の内容を分析し、電話応対について独自研修を実施した。</li> </ul>		■引き続き、OJT、集合研修、自己啓発により、必要とされる知識を習得できる機会を提供する。			
	(4) 費用対効果を踏まえたコスト削減等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■随意契約にあって、100万円を超える案件については、調達審査委員会で調達内容、方法等を審議し、調達の適正化を図った。</li> <li>■その他少額案件についても、見積競争を実施し、コスト削減に努めた。</li> </ul>		■支部経費節減マニュアルに基づいたコスト意識を高める。			
		KPI	一般競争入札に占める一者応札案件の割合	R1目標	R1実績	達成度	R2目標
				28.6%以下	20%	○	20%
	(5) コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コンプライアンス委員会の定期開催（2回）。</li> <li>■支部コンプライアンス研修の実施。</li> <li>■本部コンプライアンス通信による啓発。</li> </ul>		■引き続き、研修等を通じて、コンプライアンス基本方針、行動規範の理解及び浸透させるなどの意識醸成を図る。			
(6) リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>■災害リスクに対しては、安否確認システム、支部初動対応訓練及びビルにおける避難訓練を実施した。</li> <li>■個人情報保護、情報セキュリティに対しては、毎月管理職による端末チェック、半期ごとに自主点検及び全職員への研修を実施した。</li> </ul>		■定期的な訓練及び職員向けの啓発を実施し、危機管理にかかる習熟度を維持していく。				

## ②和歌山支部保険者機能強化予算にかかる経費について

# 和歌山支部保険者機能強化予算にかかる経費について(令和元年度)

(単位:円)

事項	取組名	予算	経費	
医療費適正化	1	バス車内TVフラット広告(ジェネリック医薬品他)	682,000	686,812
	2	柔整の適正施術の啓発ポスターの作成	129,600	0
	3	第三者行為に係る傷病届の届出勧奨ポスターの作成及び医療機関への配付	135,000	29,700
	計		946,600	716,512
	4	協会主催の集団健診実施にかかる経費	6,229,800	5,836,504
	5	集団健診における派遣職員による電話勧奨	2,099,520	1,212,663
	6	事業者健診にかかる同意書取得勧奨及び健診結果データ取得勧奨等の外部委託	5,900,000	5,532,519
	7	事業者健診結果データ提供にかかる費用	361,000	410,151
	8	和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業	131,760	79,164
	9	中規模事業所への生活習慣病予防健診再勧奨	233,064	92,742
10	小規模事業所対象者への生活習慣病予防健診DM勧奨	1,077,300	969,160	
11	任意継続加入者への生活習慣病予防健診及び特定健診の案内	991,980	541,080	
12	被扶養者向け集団健診における広報(案内)	1,999,260	290,369	
13	付加健診該当者への個別案内	197,964	344,612	
14	被扶養者向け特定健診啓発パンフレットの作成	1,387,800	0	
15	特定保健指導の利用勧奨	357,500	3,500	
16	「職場における健康講座」の実施	924,000	746,760	
17	健康宣言事業所事業	863,372	379,522	
18	職場における健康づくり取組アンケートフォローアップ事業	109,080	0	
19	集団健診後の結果説明会及び特定保健指導の実施	42,280	12,560	
20	メタバ流入抑制対策	100,100	0	
計		23,005,780	16,451,306	
保健事業	21	紙媒体による広報	3,030,000	1,643,401
	22	「わかやま健康と食のフェスタ」へのブース出展	113,749	54,399
	23	「わかやまスポーツフェス」へのブース出展	56,549	0
	24	日本年金機構との連携によるイベントへのブース出展	56,549	0
	25	県広報誌への広告	660,000	660,000
	26	健康経営促進セミナーの実施	596,000	248,200
	27	TV局のスポンサーCMの活用による広報	396,770	396,360
	28	電話案内による勧奨業務	980,000	362,780
	29	地域情報紙での広報	543,360	523,200
	30	公用車を利用した広報	62,800	27,000
	31	バス車両広告による広報	518,400	521,400
計		7,014,177	4,436,740	
合計		30,966,557	21,604,558	
広報・意見発信				

## 和歌山支部保険者機能強化予算にかかる経費について(令和元年度)

事業名	1	バス車内TVポスト広告(ジェネリック医薬品他)
事業内容	概要	和歌山県の二大総合病院である「日赤和歌山医療センター」「和歌山県立医科大学付属病院」にバスで来院する乗客を対象に、停留所到着時に、運賃表示器に「ジェネリック医薬品使用促進」の案内広告を表示する。 協会けんぽのジェネリック医薬品使用促進に対する取り組みを乗客にアピールし、支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上をめざすもの。
実績等		和歌山県の二大総合病院である「日赤和歌山医療センター」「和歌山県立医科大学付属病院」にバスで来院する乗客を対象に、停留所到着時に、運賃表示器に「ジェネリック医薬品使用促進」の案内広告を表示する。 関係停留所4か所。平日ダイヤの場合、1日計604回放送。

事業名	2	柔整の適正施術の啓発ポスターの作成
事業内容	概要	健保連、国保連、共済との連名による、ポスターを作成し、公益社団法人 和歌山県柔道整復師会を通じ、会員及びその他の施術所に送付する。また、事業所等にも掲載を依頼する。 公益社団法人である、和歌山県柔道整復師会を通じること、柔整師に啓発を行う。事業所等に掲載を依頼することで、加入者への啓発を行う。保険者と社団の連名でポスターを作成することが重要。
実績等		10月に業務部長と業務グループ長が異動したことで、新たな柔整審査委員会の体制基盤確立を優先した。 特に業務グループ長は柔道整復施術療養費の業務に携わることが初めてであったため、基礎知識の習得が急がれ、当該取組の優先順位が後回しとなった

事業名	3	第三者行為に係る傷病届の届出勧奨ポスターの作成及び医療機関への配付
事業内容	概要	交通事故等の第三者行為による負傷で健康保険を使用して治療をする場合に、「第三者行為による傷病届」等の届出を必要とするが、届出が必要なことを認識していない加入者や届出が遅延していることにより加害者に対する請求手続きが遅くなっているケースが見受けられるため、医療機関の窓口や掲示板等にポスターを掲示してもらおうように依頼して加入者に対して周知を図る。
実績等		医療機関からの指導による負傷原因届や第三者行為による傷病届の届出に関する電話照会や申請用紙の送付件数が前年度と比べて増加している。また、和歌山県の交通事故発生件数が、平成30年度と令和元年度の比較では大幅に減少しているにもかかわらず、協会けんぽ和歌山支部の「負傷原因届」や「第三者行為による傷病届」の受理件数は、平成30年度と令和元年度の比較では同程度となっていることから、医療機関を通じた第三者行為による傷病届等の届出の必要性が、少しずつ浸透しているものと考ええる。

事業名		協会主催の集団健診実施にかかる経費	
4			
事業内容	概要	<p>ショッピングモールやイベント会場、地域の公民館等で協会主催の扶養家族向け集団健診を開催。</p> <p>下記①～③の集団健診に伴う受診勧奨通知、健診現場での広報物作成等を実施。</p> <p>①わかやま商工まつりでの集団健診の開催(2回分)</p> <p>②協会主催の集団健診の開催(定例13回分)</p> <p>③その他イベント等での開催を検討(新規2回分)</p>	
実績等		扶養家族の特定健診受診率向上のために、主催集団健診を前年度より拡大して実施。実施件数が、前年度2,101件から2,684件と大幅に伸び、支部のKPIも達成した。	

事業名		集団健診における派遣職員による電話勧奨	
5			
事業内容	概要	<p>扶養家族集団健診の受付業務(リスト作成)及び前年申込者で、当年度未申込者に対する電話勧奨等を実施。</p> <p>①②の期間ともに電話勧奨を実施したが、申込率は約18～28%で推移した。</p> <p>その結果、元年度扶養家族受診者数8,061人(支部集計値)と前年度受診者7,418人を上回り、KPI(20.6%)も達成した。</p>	
実績等		前年受診者に架電することで、約18～28%の方が申込みにつながり一定の効果が得られた。	

事業名		6		事業者健診にかかる同意書取得勧奨及び健診結果データ取得勧奨等の外部委託	
事業内容	概要	<p>委託業者による同意書取得勧奨及び健診結果データ取得勧奨を実施。また、支部にて受領した健診結果(紙)のデータ化(コンビニ委託)を行う。</p> <p>当初計画した目標件数を超過し、KPIも達成。</p>			
実績等		同意書取得は目標に少し届かなかったが、受診率に繋がる健診結果取得及びデータ作成が当初目標件数を超過した。			
		実績	519件/目標	600件	(目標比86.5%)
		実績	2,870件/目標	2,500件	(目標比115%)
		実績	3,253件/目標	3,000件	(目標比108%)

事業名		7		事業者健診結果データ提供にかかる費用	
事業内容	概要	<p>健診機関で対応出来ない事業所等からの健診結果データの提供を求めるとして、事業者健診実施率の向上を図る。</p>			
実績等		1,071件取得			

事業名	8	和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業
事業内容	概要	院内掲示用の特定健診広報用ポスターを作成し、県内の契約健診機関に配布。ポスターには、対象健診機関における受診者自己負担額を掲載しているため、消費税変更時期に合わせて令和元年度は2回作成した。
実績等		医師会から集合B契約傘下の健診機関に配布してもらうなど連携を深めることができ、特定健診についてはKPIを達成できた。

事業名	9	中規模事業所への生活習慣病予防健診再勧奨
事業内容	概要	中規模事業所に対し、生活習慣病予防健診の利用を促進するために、年度途中に再勧奨通知を送付。 343社(6,779名)に送付し、19社130名の申込みがあった。
実績等		受診に繋がった人数は想定より少なかったが、同制度の周知を計画時より多くの方へ実施でき、次年度以降の受診に繋がる可能性がある。また、生活習慣病予防健診についてはKPI達成した。

事業名	10	小規模事業所対象者への生活習慣病予防健診DM勧奨
事業内容	概要	小規模事業所に所属している生活習慣病予防健診対象者個人宛に、健診案内通知を送付。 発送件数19,986件に対し、申込349件(1.74%)
実績等		受診に繋がった人数は想定より少なかったが、同制度の周知を計画時より多くの方へ実施でき、次年度以降の受診に繋がる可能性がある。また、生活習慣病予防健診についてはKPIを達成した。

事業名	11	任意継続加入者への生活習慣病予防健診及び特定健診の案内
事業内容	概要	任意継続加入者への生活習慣病予防健診及び特定健診を案内(一括分+随時分)を送付するため、チラシ印刷や封入封緘發送業務等の委託を実施。 5月に任意継続被保険者へ委託業者より生活習慣病案内を一斉發送。その後支部にて12月まで毎月途中加入の任意継続被保険者へ發送。(計2,819件) 任意継続加入の扶養家族へ特定健診勧奨をするための案内チラシや健診機関一覧などを印刷。
実績等		任意継続加入者に対しては、本部一斉發送対象者より除外されているため、同事業を実施することで支部加入者の健康の維持、支部受診率の底上げができた。



事業名	12	被扶養者向け集団健診における広報(案内)
事業内容	概要	市町村のがん健診同日実施の広報について、一斉発送分と個別発送に分けて実施。年度当初の一斉発送は受診券券発送時に一次勧奨(受診券送付時)を実施し、その後地域の受診日程が近づくとハガキによる二次勧奨を実施した。 その他、市町村との個別調整により一部市町は別日程で勧奨を実施した。
実績等		市町村のがん検診同日実施は、例年通りの受診数を確保できており、支部のKPIも達成した。

事業名	13	付加健診該当者への個別案内
事業内容	概要	前年度生活習慣病予防健診未利用(0%)事業所所属の付加健診対象者に、付加健診の魅力的な内容をアピールした健診案内通知を送付し、生活習慣病予防健診の受診促進を実施。 7月に対象者2,799人に発送し、79名(2.6%)の申込みが確認できた。
実績等		受診に繋がった人数は想定より少なかったが、同制度の周知を計画時より多くの方に実施でき、次年度以降の受診に繋がる可能性がある。

事業名	14	被扶養者向け特定健診啓発ツングアの作成
事業内容	概要	対象者に特定健診の内容や目的等を分かりやすく周知するための啓発ツングアを作成し、協会主催集団健診の案内等に使用することで、これまで未受診であった方の受診促進を図る。
実績等		当初啓発ツングアを勧奨通知に同封しようとしたが、ハガキを活用した二次勧奨を委託にて実施し、案内勧奨回数を増やすほうが安価で受診率向上に繋がると考えたため未実施となった。

事業名	15	特定保健指導の利用勧奨
事業内容	概要	特定保健指導の案内を事業所宛に送付。案内送付後、事業所宛電話勧奨を実施。 2144社へ案内を送付し、保健指導受け入れ事業所 1,413社(受入率65.9%) 初回面談実施件数3,087件(前年度2,405件;対前年比109.7%)
実績等		対前年度の初回面談件数を上回り、また事業計画の目標値である2845件を達成することができた。

事業名	16	「職場における健康講座」の実施
事業内容	概要	希望申込みのあった事業所へ、メンタルヘルス講座を中心に、腰痛・肩こりや女性の病気、生活習慣病予防に関する講座を14回実施した。
実績等		受講事業所数はほぼ予定通りであり、アンケートによると概ね好評で、健康づくり意識醸成に寄与したと考えられる。

事業名	17	健康宣言事業所事業
事業内容	概要	スタートブックを作成し、令和元年度新規健康宣言事業所(193事業所)だけでなく、すでに宣言済みであった246事業所にもスタートブックを配布し、健康経営に関する周知を行った。また、希望する事業所へ、健康機器の貸し出し等のサポートを行った。
実績等		健康宣言事業所数が増加し、健康機器の貸出申込みも増えたことから、事業所における健康づくりの取り組みが進んでいると考えられる。

事業名	18	職場における健康づくり取組アンケートバック事業
事業内容	概要	被保険者20名以上の事業所に対し、アンケートを実施し、回答に基づいた自社の健康づくりの取り組み度を指標化して希望する事業所に送付してアンケートバックし、健康宣言事業である「わかかやま健康づくりチャレンジ運動」登録勸奨を行うもの。
実績等		対象として挙げた被保険者20名以上の事業所に対して、別の手法(委託事業者による電話勸奨)にて登録勸奨を実施したことから、本事業を実施しなかったため未実施となった。

事業名	19	集団健診後の結果説明会及び特定保健指導の実施
事業内容	概要	協会主催の集団健診(平成30年度)で受診された方を対象に、結果説明会を開催。(紀の川市・橋本市を4月に開催) みなべ町のがん検診との同日実施での受診者を対象に、結果説明会を開催。 橋本市 結果説明会参加者 47名 特定保健指導4名実施 紀の川市 結果説明会参加者 34名 特定保健指導4名実施 みなべ町 結果説明会参加者 51名 特定保健指導6名実施
実績等		紀の川市・橋本市の結果説明会参加率は、橋本市44.3% 紀の川市 29.2%と低かったがみなべ町については、継続実施しており、60%の参加率であった。

事業名	20	メタボ流入抑制対策
事業内容	概要	昨年の健診結果で、特定保健指導の対象基準に近かった方へ、健診受診3か月前頃に文書を郵送し、次の健診に向けて生活習慣改善を呼びかける取組を実施。 前年度の健診結果で腹囲基準に該当し、かつ血圧・脂質・血糖のリスクを1つ以上保有している人を対象とする。 ①腹囲基準 男性 83cm～87cm 女性 88cm～92cm ②血圧リスク 収縮期血圧 130mmHg以上または拡張期血圧 85mmHg以上 ③脂質リスク 中性脂肪 150mg/dl以上 または HDLコレステロール 39mg/dl以下 ④血糖リスク 空腹時血糖・随時血糖 100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上
実績等		案内を送付した人のうち、平成31年度に健診を受けた人は 273名。体重減少がみられた人は116名(42.5%)、腹囲減少がみられた人は113名(41.4%)、保健指導層層化が顕化した人は 41名(15%)であった。腹囲基準未満の方が、翌年特定保健指導対象になった方は6名(4.7%)に抑えることができたが、特保対象者の方で、翌年対象外になった方は、7名(4.9%)にとまった。

## 21 紙媒体による広報

事項 (詳細)	目的 (使途項目)	実施時期	配布対象者	期待される効果
インセンティブ周知用クリアファイル	インセンティブ制度の周知、健診案内	令和元年5月	事業所	事業主・事業所担当者・被保険者への周知及び情報提供
納入告知書同封チラシ	毎月、事業主あてに送られる納入告知書に同封する広報チラシを作成する	通年	事業所	事業主・事業所担当者・被保険者への周知及び情報提供
事業案内用卓上カレンダーの作成	毎日目にする卓上カレンダーに健診案内等を記載し、広く事業を広報する	令和元年11月	健康保険委員他	事業主・事業所担当者・被保険者への周知及び情報提供
事業所内掲示ポスター	柔道整復師の正しいかかり方を啓発する	令和元年6月	加入者	加入者への情報提供

事業名	22	「わかやま健康と食のフェスタ」へのブース出展
事業内容 概要	和歌山県保険者協議会の一員(実質的に和歌山県国保連合会と協会けんぽの2者共同運営)として、和歌山県福祉保健部健康推進課・農林水産部果樹園芸課の主催する「わかやま健康と食のフェスタ」にブース出展を行う。標記イベントは、和歌山県が健康推進や食育に携わる団体、企業と連携し、健康に関する特色ある活動の紹介や自らの健康状態を把握できる体験の場を提供することで、県民健康意識の高揚を図ること及び健康寿命の延伸につなげることを目的に実施されるもの。 なお、2019年度に限り、「ねんりんピック」の国わかやま2019」の関連イベントとして開催。	
実績等	協会けんぽと和歌山県国民健康保険団体連合会の二者で、それぞれ所有する血管年齢測定器を持ち寄って、希望者の血管年齢を測定し、測定後は、保健師が健康相談を実施。 ・ブースでの測定人数:1,082名	

事業名	23	「わかやまスポーツフェスタ」へのブース出展
事業内容 概要	公益財団法人和歌山県スポーツ振興財団が主催、和歌山県教育庁スポーツ課が協力し、スポーツに興味・関心をもつきっかけや親しむことができる環境づくりを目的に、体験や紹介、体力測定・健康相談などの催しを通じて県民の健康増進をはかるもの。	
実績等	公益財団法人和歌山県スポーツ振興財団が主催、和歌山県教育庁スポーツ課が協力し、イベントを開催する予定であったが開催されなかった。	

事業名	24	日本年金機構との連携によるイベントへのブース出展
事業内容	概要	日本年金機構の「ねんきん月間」の実施に伴い、日本年金機構及び和歌山県社会保険労務士会が中心となって、公的年金制度の普及啓発を目的にイベントブースを設けるもの。これに合わせ、血管年齢測定会を開催し、加入者の健康増進を図るもの。
実績等		昨年同様多くの方に測定を行い、協会けんぽの知名度向上や、県民の健康増進に寄与したと思われる。また、年金関係の相談ブースを訪れた方の多くが、血管年齢測定器利用時に勧めたことで年金相談を受けたことから、イベントの目的に貢献し、主催者との連携強化を図ることが出来た。

事業名	25	県広報誌への広告
事業内容	概要	和歌山県の広報誌「県民の友」紙面内広告を活用し、健診及び保健事業案内、ジェネリック医薬品の使用促進及び保険料率改定案内等の周知・情報提供を図る。
実績等		県内全体の世帯に配布することで、広範囲にわたって事業案内や情報提供を行うことができた。

事業名	26	健康経営促進セミナーの実施
事業内容	概要	和歌山県との共同運営となった健康宣言事業「わかやま健康づくりチャレンジ運動」を、セミナーを通じて、加入者・事業主に直接アプローチするなどの一層の周知を図る。また、チャレンジ運動登録事業所から健康経営優良法人への認定企業の増加、和歌山県の実施する「わかやま健康推進事業所」の増加につなげ、県民運動としての機運を盛り上げるもの。
実績等		新型コロナウイルスの影響により延期

事業名	27	TV局のスポーツCMの活用による広報
事業内容	概要	地元TV局のCM枠に提供し、大規模イベントに合わせた集団特定健診の募集案内を中心に広報を行う。視聴率の望める有望な番組に、15秒CMを放映するもの。
実績等		大型イベントである商工まつりの中で集団健診を実施する予定であったが台風で中止になったため評価がCMを見て健診の問い合わせ申し込みが複数あった。

事業名	28	電話案内による勸奨業務
事業内容	概要	健康宣言「わかやま健康づくりチャレンジ運動」の勸奨文書を1,500社へ送付し、その後、委託業者による詳細補足を含めた電話勸奨を行うもの。
実績等		目標を100件(目標率6.7%)と定めていたため、登録事業所数としては目標達成とならなかったが、制度について広く周知できたことや、健康委員、マルマカもあわせて獲得できたことから、一定の効果はあったとみられる。翌年度については、委託に回さず支部職員による電話勸奨・訪問勸奨とし、チャレンジ運動登録だけでなく、国の認定取得を含めた説明を予定している。

事業名	29	地域情報紙での広報
事業内容	概要	地域の情報紙(フリーペーパー)「LIVING和歌山」の健康情報コーナーを活用し、健診及び保健事業案内、協会けんぽイベント案内、インセンティブ制度等の周知、情報提供を図る。
実績等		地域を絞ってイベントや健診等の広報を行うことができた。また、紙面広報だけではなく情報誌発行元のイベントでジェネリックや特定健診の広報なども行うことができた。

事業名	30	公用車を利用した広報
事業内容	概要	公用車2台の側面に広報を印刷したマグネットを貼り付けし、喪失後受診やジェネリック使用促進の広報を行う。 ・和歌山県内の人口の約40%は和歌山市に在住しており、主に市内を走る公用車での広報は効果的。 ・広報媒体が公用車であり、コストメリットがあること。
実績等		駐車場での停車時は特にマグネットが目立ち、広報の役割を果たしているものと思われる。 加入者理解度調査における特定健診認知率がH30年度の50.7%に比べR元年度は51.8%に増加しており、ジェネリック医薬品についてもH30年度の61.2%に比べR元年度は83.4%に増加している。なお、マグネット式のため追加費用をかけず今後も引き続き広報することができると見られる。

事業名	31	バス車両広告による広報
事業内容	概要	和歌山市内のバスにラッピング広告を掲載し、「健診受診促進」の広報を行う。 ・和歌山県内の人口の約40%は和歌山市に在住しており、市内を走るバス広告は効果的。 ・和歌山県は車社会と言われており、電車広告より公道を走るバスのラッピング広告は有効
実績等		加入者理解度調査における特定健診認知率がH30年度の50.7%に比べR元年度は51.8%に増加している。